

〇〇〇〇学級 算数科学習指導案

指導者 〇〇〇〇

1 単元名 「〇〇〇〇タウン」を作ろう

2 指導観

○本グループは、〇〇〇〇学級（知的）3年生1名4年生3名、〇〇学級（情緒）1年生2名、2年生1名、通常学級からの交流児童2年生1名の計8名で構成されている。各学級の児童の実態については以下の通りである。

		知識・理解	意欲・態度
A グ ル ー プ	A児 (知的3年)	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものの形を見て、「時計は丸、机は四角」など三角、四角、丸に仲間分けすることができる。 いろいろな三角形や四角形の形を見て「さんかく」「しかく」に分けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 注意が途切れてしまうこともあるが、声かけすると学習にむかおうとする。
	D児 (知的4年)		<ul style="list-style-type: none"> 手先の不器用さがみられるが、集中して自分なりに取り組むことができている。
	E児 (情緒1年)		<ul style="list-style-type: none"> 興味のあることには、意欲的に取り組むことができる。
	F児 (情緒1年)		<ul style="list-style-type: none"> 声かけは必要だが、ゆっくりとしたペースで、一人で取り組むことができる。
B グ ル ー プ	B児 (知的4年)	<ul style="list-style-type: none"> 図形への関心は高く、日頃から三角形、四角形の形を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 気分的なムラがあるが、落ち着いて取り組めることが増えてきている。
	H児 (交流2年)	<ul style="list-style-type: none"> 通常学級在籍だが、2年生の2学期から全面交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に意欲的に取り組むことができしており、1単位時間集中して学習することができる。
C グ ル ー プ	C児 (知的4年)	<ul style="list-style-type: none"> 三角形、四角形の形を組み合わせて、いろいろな形を作ることができる。 正方形、長方形といった言葉は知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感情の起伏が激しく、学習に取り組めるときとそうでないときの意欲の差が激しいが、気持ちののったときは、率先して教師や他児の手伝いをしてくれる。
	G児 (情緒2年)		<ul style="list-style-type: none"> 学習に意欲的に取り組むことができしており、1単位時間集中して学習することができる。

- 本単元は、身の回りにある物の形を観察したり、構成したりするなどの活動を通して、平面図形（三角形、四角形）についての理解の基礎となる経験や感覚を豊かにすることをねらいとしている。本単元には、①図形を使って「〇〇〇〇タウン」という町を作る活動で、子どもたちの主体的な活動が期待できること、②いろいろな三角形や四角形を組み合わせて建物や、乗り物、生き物などを作る活動を通して、個に応じた体験的な学習内容を設定できること、③色板を操作して作る→色紙を貼って作る→線で図を描く→言葉で表すことで、具体物操作から念頭操作へと発展させていくこともできる、などの価値がある。

子どもたちは、「〇〇〇〇タウン」を作りたいという意欲のもとに、形の操作活動を楽しみながら試行錯誤しながら取り組む中で、形を認識したり、組み合わせ方によって変化する形に興味を深めたり、形を構成する要素（辺の長さ、辺や頂点の数）に着目したりなど、個に応じた学習内容を習得させていくことができる。子どもたちの創造性を刺激する町作りという活動を仕組むことで、楽しみながら形をとらえることができるとともに、これら多くの操作活動を通して、これまで漠然ととらえていた形を、はっきりと「三角（形）」「四角（形）」としてとらえ、理解していくことは、今後の図形の学習の素地を育む上で重要である。また、いろいろな物の形を意識することで、生活に生かすこと（大きさをとらえて空いた場所に物を入れる、形を認識して同じ形の物を積み重ねる）ができるなど日常生活上の価値も高い。

自分のしたことや考えを発表する、相手の発表を聞く活動（全体交流）を設定することは、円滑なコミュニケーションをとる力への第一歩として大変意義深い内容である。

- 本単元の指導にあたっては、「〇〇〇〇タウン」を作ろうというめあてをもって、一人一人が意欲的に課題に取り組み、図形の基礎的理解を確かなものにした。

「出会う」段階では、各自の活動について知り、町づくりの設定に合わせてながら三角と四角を仲間分けしたり、組み合わせたりすることで、活動の意欲を喚起し、これからの学習の見通しが持てるようにしていく。また、三角形と四角形の定義や辺や頂点といった用語を知り、今後それを基に学習を進めていくことを確認する。

「作る」段階では、問題を読んで、問題のとおりと同じ形を探したり、組み合わせたりといった具体物操作を通して各自の町を作り上げていく。その過程に次のような操作を行いながら活動を進めていく。

A児・D児・E児・F児

- ① 問題文に沿って、同じ形を探す。（形の弁別）
- ② 色板を使って同じ形を作る。（形のマッチング）
- ③ 色紙を使って同じ形を作る。
- ④ 三角がいくつ、四角がいくつで何の形ができたかワークシートにまとめる。

B児・H児

- ① 問題文に沿って、同じ形を探す。（形の弁別）
- ② 色板を使って同じ形を作る。（形のマッチング）
- ③ 色紙を使って同じ形を作る。
- ④ 点を結んで作図をする。
- ⑤ 三角がいくつ、四角がいくつで何の形ができたかワークシートにまとめる。

C児・G児

- ① 問題文に沿って、同じ形を探す。（形の弁別）
- ② 色板を使って同じ形を作る。（形のマッチング）

③ 色紙を使って同じ形を作る。

④ 点を結んで作図をする。

⑤ 方眼紙で作図をする。

⑥ 辺、頂点の数、どんな形を使ったかを確認しながら、ワークシートにまとめる。

それぞれが、自分の課題に合わせて、②～④、②～⑤、②～⑥の活動を繰り返し行う。操作活動を通して、図形についての関心や理解を深め、具体物操作→念頭操作へと発展していけるようにする。また、学習の終わりには各自の作った形を発表しあうことで、コミュニケーションをとらせたい。

「まとめ」の段階では、これまでに作ってきた「○○○○タウン」を見直すことで、学習を振り返り、それぞれの工夫したところ、頑張ったところを認め合い、一人一人に活動の満足感や達成感を味わわせたい。

3 単元目標

○「○○○○タウン」作りにおいて、自らの算数的活動に取り組むことができる。 (関心・意欲・態度)

○手順表をもとに、学習内容や解決の見通しを持って、意欲的に取り組むことができる。

(関心・意欲・態度)

○三角形、四角形の特徴をとらえることができる。

(数学的な考え方・技能・知識・理解)

A児・D児・E児・F児

・並べたり、組み合わせたりといった操作活動を通して、見本と同じ形を作ることで、三角と四角（三角・真四角・長四角）の形の違いをとらえることができる。

B児・H児

・並べたり、組み合わせたりといった操作活動を通して、見本と同じ形を作ることで、三角と四角（三角・真四角・長四角）の形の変化をとらえることができる。

C児・G児

・並べたり、組み合わせたりといった操作活動を通して、見本と同じ形を作ることで、いろいろな三角形や四角形（三角形・直角三角形・四角形・正方形・長方形）があることに気づき、辺や頂点の数といった形の特徴をとらえることができる。

<自立活動の目標>

○相手の意見を聞いたり、自分の意見を相手に伝えたりすることができる。

4 指導計画（全10時間）

時	学習活動			教師の働きかけと評価
1	「〇〇〇〇タウン」に出会い、活動について話し合う。			
	<p>○「〇〇〇〇タウン」を作るために必要な活動を知り、意欲を喚起する。</p> <p>○三角、四角の仲間分けをする。</p> <p>○三角形、四角形の定義や、辺、頂点といった用語を知る。 (C・G児)</p>			<p>○三角と四角の形を意識づける為に、様々な形を提示し、どれが三角で四角かを確認する。</p> <p>関 「〇〇〇〇タウン」作りや三角と四角の仲間分けに興味を持っている。</p>
8	「〇〇〇〇タウンを作ろう」の活動をする。			
2	(1) 四角形を使って「建物」などを作ろう。			<p>○一人一人の教材、教具を用意し、操作の手順や学習内容をつかめるようにする。</p> <p>○学習課題を解決したり、考えを見直したり深めたりできるよう教材・教具を工夫する。</p> <p>○学習した内容を確認することができるように、ワークシートに取り組む時間を設定する。</p>
	A・D・E・F児	B・H児	C・G児	
	正方形・長方形を提示 (しかく・ながしかく・ましかく)		正方形・長方形・台形を提示 (正方形・長方形・四角形)	
2	(2) 三角形を使って「乗り物」を作ろう。			<p>関 形の特徴をとらえて、図形を分類しようとしている。</p> <p>知 形の特徴をとらえたり、意味や性質を理解したりしている。</p> <p>技 見本と同じ形を作ることができている。</p>
	A・D・E・F児	B・H児	C・G児	
	直角二等辺三角形を提示 (さんかく)	直角二等辺三角形・正三角形を提示 (さんかく)	直角二等辺三角形・正三角形・直角三角形を提示 (三角形・直角三角形)	
4	(3) 三角形と四角形を組み合わせて、「自然や生き物」を作ろう。			<p>考 ずらしたり、裏返したり、組み合わせたりして、いろいろな形を構成・分解しようとしている。</p> <p>表 「何の形を使って」「何を作ったか」説明することができる。</p>
	正方形・長方形・直角二等辺三角形を提示	正方形・長方形・直角二等辺三角形・正三角形を提示	正方形・長方形・台形・直角二等辺三角形・正三角形・直角三角形を提示	
本 時 3 / 4				
1	「〇〇〇〇タウンを作ろう」の活動を振り返る。			
	<p>○自分の活動を振り返り、頑張ったこと、分かったことを発表する。</p> <p>○いろいろな三角、四角を使って、自分(人間)を作る。</p>			<p>○発表する際、作る際に形や定義を確認しながら行う。</p> <p>関 友だちの発表を聞くことができている。</p>

6 本時の目標

- 活動の手順をつかんで、形づくりに取り組むことができる。
- 具体物の操作を通して、図形についての基礎となる経験や感覚を豊かにする。

	知識・技能	関心・意欲・態度
A・D・ E・F児	・三角、四角を見本通りに組み合わせることができる。	少しの支援で、自分でできるだけすすめることができる。
B・H児	・いろいろな形の中から、見本と同じ三角、四角を探し出して、同じ形を作ることができる。	少しの声かけで、自分ですすめることができる。
C・G児	・見本と同じように組み合わせた図形を、点や方眼紙に作図することができる。	分からないときの声かけ程度で、自分ですすめることができる。

- 友だちの意発表を聞いたり、友だちに自分の作った形を発表したりできる。

7 本時指導の考え方

子どもたちは、前時までに「〇〇〇〇タウンを作ろう」の活動を通して、三角、四角を仲間分けしたり、見本通りに組み合わせたりして、その活動をワークシートや町を構成する要素の一つとして表している。本時もその活動を継続して行うものである。

「つかむ」段階では、前時の活動を振り返らせながら活動の手順を提示し、一人一人に活動の見通しを持たせ、子どもたちの活動意欲を高めたい。そのためにも、各自の教材・教具を机の上に用意し、それぞれで進めるようにしていきたい。

「つくりだす」段階では、一人一人の課題に沿って活動を進めていく。C児・G児・H児については、自分でどんどん活動が進められるよう声かけを行い、A児・B児・D児・E児・F児については、支援しながらできるだけ自分で活動できるようにしていく。

「ひびきあう」「まとめる」段階では、作った形や使用した形をみんなの前で発表しあい、一人一人が活動の達成感や満足感を味わえるようにしたい。

8 準備

手順表	見本の形	〇〇〇〇タウン	発表の仕方・聞き方カード
三角、四角の形（色板・色紙）		ワークシート	ふりかえりカード

9 本時の展開

		学習活動と内容	教師の働きかけと評価	
つかむ	1. 前時までの学習を想起して、本時の学習のめあてをつかむ。		○個別のめあて、個別の活動を提示し、めあてと本時の活動を明確にする。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">めあて 三角と四角をつかって、「自然や生き物」をつくろう。</div> <p>・一人一人のめあてについて確認する。</p>			
つくりだす	2. 形づくりの活動を行う。		○個別の教材を各自の机に用意しておき、自ら課題を進められるように、声かけを行う。 ●同じ形を探し出すことができているか。 ●見本の図形と同じように組み合わせることができているか。 ●できたら、次の課題に進むことができているか。 ○課題の進み具合や組み合わせ方、形の認識が正しいかを確認しながら、机間指導を行う。 ○操作活動が終わったら、まとめとワークシートに取り組みさせる。 ●三角（形）四角（形）といった言葉を用いているか。	
	A児・D児・E児・F児	B児・H児		C児・G児
	①問題（絵）と同じ形を探し出す。	①問題（絵）と同じ形を探し出す。		①問題（絵）と同じ形を探し出す。
	②選んだ形を見本の図形と同じようにホワイトボードに貼り合わせる。	②選んだ形を見本の図形と同じようにホワイトボードに貼り合わせる。		②選んだ形を見本の図形と同じようにホワイトボードに貼り合わせる。
③色紙を使って同じ形を組み合わせる。	③色紙を使って同じ形を組み合わせる。	③色紙を使って同じ形を組み合わせる。		
④どんな形を使って、何の形ができたかワークシートに記入する。	④点を結んで作図をする	④点を結んで作図をする。		
⑤どんな形を使って、何の形ができたかワークシートに記入する。	⑤どんな形を使って、何の形ができたかワークシートに記入する。	⑤方眼紙に作図をする。		
⑥どんな形を使って、何の形ができたかワークシートに記入する。		⑥どんな形を使って、何の形ができたかワークシートに記入する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">（四角）が（1）こ （三角）が（4）こ で（ちょう）ができました。</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">（三角）が（4）こ （長四角）が（1）こ （ま四角）が（1）こ で（蜂）ができました。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">（直角三角形）が（4）こ （四角形）が（1）こ で（魚）ができました。</div>	
3. 自分で考えて形をつくる。*②自分で考えた形をホワイトボードにはる。				
②③④を行う。		②③⑤を行う。	②③⑥を行う。	
まとめる	4. 学習したことを発表して、学習の振り返りをする。		○発表の仕方カードを提示する。 ●友だちに分かるように発表できているか。	
	<p>(1) まとめたプリントを友だちに見せ、「どんな形」を使って「何の形」ができたかを発表する。</p> <p>(2) 「ふりかえりカード」に記入して、自分の学習を振り返る。</p>			

10 板書計画

〇〇〇〇タウンをつくろう。

さんかくとしかくをつかって、
しぜんやいきものをつくろう。

	A・D・E・F		B・H		C・G	
めあて	同じ形をつくろう。		同じ形をさがそう。		図をかこう。	
手順	①さがす ②はる ③まとめる ④かんがえる		①さがす ②はる ③かく ④まとめる ⑤かんがえる		①さがす ②はる ③書く ④まとめる ⑤考える	
作った形						

11 場の設定 (座席表)

黒板																															
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20%;">A児</td> <td colspan="4"></td> <td style="width: 20%;">F児</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>D児</td> <td colspan="4"></td> <td>B児</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>C児</td> <td>E児</td> <td>H児</td> <td colspan="2"></td> <td>G児</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>								A児					F児			D児					B児			C児	E児	H児			G児		
A児					F児																										
D児					B児																										
C児	E児	H児			G児																										
〇〇〇〇タウン掲示																															